



2024年版・環境経営レポート

(対象期間 2023年10月 ~ 2024年9月)

2025年1月31日 発行

株式会社富士インダストリーズ

環境経営方針

《基本理念》

当社の事業活動が地域及び次世代の環境に及ぼす影響を常に考え、住み良い地域環境と地球環境の実現のため、経営のあらゆる面で環境に配慮して行動する。

《基本方針》

株式会社富士インダストリーズは、地域性及び環境への関連を考慮し、以下の環境方針を定め、全ての事業活動を通じて、その実現に取り組みます。

1、事業を通じた地球環境保護

全ての事業活動において、地球環境保護に寄与できるよう努めます。
当社の仕入販売において、安全に配慮した上で環境負荷の少ない手段で製品・サービスを提供する。

2、資源・エネルギーの効率的利用

資源・エネルギーの消費や廃棄物の排出状況等をチェックし、環境への負荷を認識し、省資源、省エネルギー、リサイクル、そしてグリーン購入に努めます。

3、環境関連法規の遵守

環境関連の諸法規及び当社が同意した各種協定を遵守します。

4、継続的環境改善の実施

環境保全に関する目的・目標を設定し、取組結果を見直すことにより、継続的な環境改善に取り組みます。

- ① 省資源、省エネルギーの推進 [CO2排出抑制]
- ② 廃棄物の削減
- ③ 水・電気・ガス使用量の削減

5、環境啓発活動と地域・社会貢献活動の推進

環境活動レポートを公表する等、社内外に対して環境保護に関する情報の提供を行い
また、啓発、教育活動を推進するとともに、地域社会の一員として地域・社会貢献活動の推進に努めます。

6、環境保護事業への参入

当社の基本理念に沿った環境保護に積極的な企業への出資・販売協力を推進します。

令和6年1月18日
株式会社富士インダストリーズ
取締役 添田 京一

【2】事業概要

1. 会社概要

- ①会社名 : 株式会社富士インダストリーズ
 ②代表者名 : 環境経営責任者 取締役 添田 京一
 ③ECO21対象範囲 : 神戸本社 : 神戸市中央区明石町32 明海ビル9階
 東京支店 : 東京都港区新橋2丁目5-5 新橋2丁目MTビル
 中部支店 : 名古屋市中区栄1-2-7名古屋東宝ビル3階
 宇都宮営業所 : 栃木県宇都宮市不動前2丁目2-33 スズキビルⅢ2-C
 大阪営業所 : 大阪市北区梅田1-3-1 大阪駅前第1ビル 6階
 各務原営業所 : 各務原市蘇原三柿野町299-33 多賀ビル2階
- ④本社 : 神戸本社
 ⑤設立 : 1949年6月
 ⑥資本金 : 9,900万円 (全社)
 ⑦売上額 : 30,008百万円 (2024年9月期) (全社)
 ⑧従業員数 : 107名 (神戸本社47名、東京支店28名、中部支店32名)
 ⑨地域指定 : 商業地域
 ⑩敷地面積 : 神戸本社1,894.82㎡、東京支店794.24㎡、中部支店2,410.82㎡
 大阪営業所8,440㎡、宇都宮営業所600.33㎡
 ⑪建物面積 : 賃貸床面積 神戸本社848㎡、東京支店532㎡、中部支店462㎡
 大阪営業所108㎡、宇都宮営業所59.62㎡
- 環境管理責任者 : 宮田 英正
 ○連絡先 : TEL 078-331-2521 、 FAX 078-332-1485
 ○メールアドレス : h.miyata@ficipn.co.jp

2. 沿革

- 1946年5月 : 創業者 仲野至道の個人経営による機械工具類の製造販売により創業
 1949年6月 : 株式会社組織に改めるとともに、輸出入業に移行
 1956年5月 : 東京支店を開設
 1959年5月 : ニューヨークに子会社として米国法人FUJI INDUSTRIES CORP.を設立
 1977年3月 : ロンドン駐在員事務所を開設 (後に英国法人化)
 1986年1月 : 株式会社富士インダストリーズと称号を変更
 1995年1月 : 阪神淡路大震災で本社ビルが全壊するも、1ヵ月半後に通常業務に戻る
 2005年2月 : 名古屋支店(1958年7月開設)と岐阜支店(1967年11月開設)を統合し中部支店を開設
 2011年5月 : バンコックに関連会社としてタイ法人SIAM FUJI INDUSTRIES CO., LTD.を設立
 2015年7月 : ロンドンに子会社として英国法人FUJI INDUSTRIES UK LTD. を設立

3. 事業概要(対象活動範囲)

- ◇航空機用部品、材料等の輸入
 ◇ワインの輸入販売

4. 事業形態

- (1)事業年度 : 10月 ~ 翌年9月
 (2)年間稼働日数 : 242日
 (3)就業形態 : 1シフト
 (4)就業時間 : 9:00~17:30(神戸本社)、9:15~17:45(東京支店、中部支店)
 (7.5時間労働)

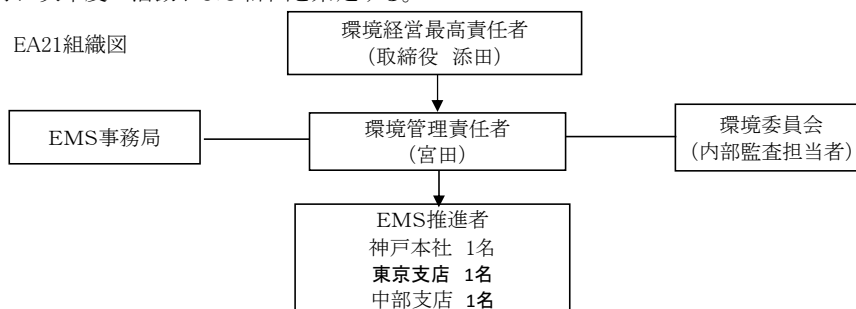
[3]敷地概要

◇都市計画法での用途地域指定：商業地域

神戸本社 商業地域		
東京支店 商業地域		<ul style="list-style-type: none"> 区域区分 市街化区域 用途地域 商業地域 容積率 700% 建ぺい率 80% 防火準防火 
中部支店 商業地域		<ul style="list-style-type: none"> 市街化区域及び市街化調整区域 市街化区域 用途地域区分 商業地域 容積率(%) 800 
宇都宮営業所 準工業地域		<ul style="list-style-type: none"> 用途地域凡例 第1種住居地域 第2種住居地域 準住居地域 近隣商業地域 商業地域 準工業地域 
大阪営業所 商業地域		
各務原営業所 商業地域		<ul style="list-style-type: none"> 用途地域 用途地域 近隣商業地域 商業地域 準工業地域 工業地域 工業専用地域 

[4]エコアクション21実施体制の構築

(1)支店長は環境経営システムを運用・実施・維持する体制を構築する。
毎年12月に次年度の活動および計画を策定する。



2024年9月期 環境目標及び環境活動実施計画書

χ : 目標の達成度
 ○ : $100\% \leq \chi$
 △ : $70\% \leq \chi < 100\%$
 × : $\chi < 70\%$

[様式-4]

項目	環境目的 (環境方針)	課題 (何を)	具体的方法 (どのように)	2022年度実績を 基準(BM)とした達成基準(どこまで)				目標 実績	日 程 (い つ ま で に)																																
				基準(BM)	目 標		目 的		第1四半期			評 価	第2四半期			評 価	第3四半期			評 価	第4四半期			年 間	評 価																
					2022年度実 績	2024年度 9月期			2025年度 9月期	2026年度 9月期	10月		11月	12月	1月		2月	3月	4月		5月	6月	7月			8月	9月														
廃棄物	排出ゴミ分別の徹底	一般廃棄物	・排出ごみの分別を徹底する。 ・靴を活用してレジ袋を削減。	23845L	目標維持 (23845 L)	目標維持 (23845 L)	目標維持 (23845 L)	目標	5,961 L	66%	×	5,961 L	102%	○	5,961 L	92%	△	5,961 L	81%	△	23,845 L	△																			
								実績	7,965 L	エネルギー 管理表 参照		5,850 L	エネルギー 管理表 参照		6,435 L	エネルギー 管理表 参照		7,110 L	エネルギー 管理表 参照		27,360 L		85%																		
省資源	コピー用紙購入量の削減	コピー購入用紙 (パーズン紙)	・両面コピー・縮小コピー使用の徹底 ・Web会議、プロジェクター利用の促進 ・電子承認システムの適用範囲拡大(各種申請、出張報告などの電子化)	800kg/年	目標維持 (800kg)	目標維持 (800kg)	目標維持 (800kg)	目標	紙類の削減 200Kg 使用済み封筒の 再利用	○	200Kg 100%	○	紙類の削減 200Kg 使用済み封筒の 再利用	○	200Kg 100%	△	紙類の削減 200Kg 使用済み封筒の 再利用	○	紙類の削減 200Kg 使用済み封筒の 再利用	○	800Kg	○																			
								実績	200Kg 100%		209Kg 96%		100Kg 150%		708.8Kg		111%																								
省エネ	水使用量の削減	水使用量	・トイレや給湯室に節水協力の張り紙を提示した。 ・トイレ擬似音の活用	-	管理外の為目標は 設定せず。	管理外の為目標は 設定せず。	管理外の為目標は 設定せず。	目標	節水表示の徹底	○	節水表示の徹底	○	節水表示の徹底	○	節水表示の徹底	○	節水表示の徹底	○	節水表示の徹底	○		○																			
								実績																																	
省エネ	電気使用量の削減 CO ₂ 排出量の削減	事務所電気の使用	1) 室内不在時、昼休み時の消灯励行 2) 使用しないパソコン等の電源OFF徹底 3) 省エネパソコンへの代替を引き続き進める。 4) 照明の一部で間引きを継続する。	68815kwh/年	目標維持 (68815kg)	目標維持 (68815kg)	目標維持 (68815kg)	目標	17,204 kwh	98%	△	17,204 kwh	97%	△	17,204 kwh	100%	△	17,204 kwh	96%	△	68,815 kwh	△																			
								実績	17,538 kwh	エネルギー 管理表 参照		17,679 kwh	エネルギー 管理表 参照		17,223 kwh	エネルギー 管理表 参照		17,964 kwh	エネルギー 管理表 参照		70,404 kwh		98%																		
								ガス使用量の削減 CO ₂ 排出量の削減	事務所冷暖房の使用	1) 冷暖房の適正温度厳守 (冷房: 28℃、暖房: 22℃) 期間 冷房6月~9月 暖房12月~3月 2) カジュアルフライデーの通年化 3) 社用車の適正な利用を促進	9198m ³ /年	目標維持 (9198m ³)	目標維持 (9198m ³)	目標維持 (9198m ³)	目標	1,840 m ³	139%	○	2,759 m ³	125%	○	1,380 m ³	132%	○	3,219 m ³	65%	×	9,198 m ³	○												
実績	1,125 m ³	エネルギー 管理表 参照	2,058 m ³	エネルギー 管理表 参照	939 m ³	エネルギー 管理表 参照	4,337 m ³	エネルギー 管理表 参照	8,459 m ³	108%																															
輸送回数の減少および梱 包用資材の削減	クレーム/不具合率 の減少	1) クレーム台帳への記入、管理(クレーム台帳の電子化済み)	3.20%	目標維持 (3.20%)	目標維持 (3.20%)	目標維持 (3.20%)	目標	3.20 %	153%	○	3.20 %	142%	○	3.20 %	104%	○	3.20 %	-6%	×	3.20 %	△																				
実績	1.52 %	1.85 %	3.08 %	6.58 %	3.26 %	98%																																			
有益な テーマ	化学物質の管理	化審法および毒劇法 対象物質の選別	社内システムにSDSを入力し、化審法および毒劇法の対象物質か否かを 判定する。	なし	目標は設定せず、 実績の管理を行 う。	目標は設定せず、 実績の管理を行 う。	目標は設定せず、 実績の管理を行 う。	目標	実施		実施		実施		実施		実施																								
教育	環境教育の充実	EMS関連教育 特定作業員への教育 手順書の説明 法規制の遵守	・自覚教育の実施 ・EMS関連教育の実施 ・緊急事態対応訓練・教育 ・JIS-Q-9100の教育推進	-	100%受講	100%受講	100%受講	目標																																	
上期	環境経営最高責任者コメント欄							(コメント)				(コメント)				(コメント)				(コメント)																					
	社内での食事会やフレックスタイム制の導入による実績値の悪化は見られるが、人事面・福利厚生面では社員の為の良好な職場環境作りによる結果でもあることから、今後の推移を注視していく。							廃棄物の項目が目標数値を大幅に上回る結果となった。年末の掃除や社内の食事会が多く廃棄物の量が増えたことが原因と考えられる。							電気使用量の項目以外は目標を達成出来た。時差出勤やフレックス制度の導入に伴い社員が事務所に滞在する時間の幅が増えたため、どのように電気使用量を減らすかが今後の課題と考える。							ガス使用量及び輸送回数の減少の目標値は達成出来た。廃棄物は依然として多いため引き続き対策を講じる必要があると考える。							8月22日から10月2日まで東京支店でレイアウト変更の工事を行った。土日も作業員が工事をしており冷房を使用していたため目標値を超える結果となった。							年間を通してコピー用紙購入量の削減及びガス使用量、CO ₂ 排出量の削減は目標を概ね達成出来た。目標値を下回る項目については更に取り組みを強化していきたい。					
年度	環境経営最高責任者コメント欄							照査：環境管理責任者							照査：環境管理責任者							照査：環境管理責任者							照査：環境管理責任者												
	ゴミの排出量は前年比で削減、コピー用紙購入量でも前年比で35%も削減でき、ペーパーレス化が一層進展した。																																								

2024年9月期 環境目標及び環境活動実施計画書

X: 目標の達成度
 O: 100% ≤ X
 △: 70% ≤ X < 100%
 ×: X < 70%

[様式-4]

項目	環境目的 (環境方針)	課題 (何を)	具体的方法 (どのように)	2022年9月を基準(BM)とした達成基準(どこまで)				目標 実績	日 程 (いつまでに)																	
				基準(BM)	目 標		目的		第1四半期			評 価	第2四半期			評 価	第3四半期			評 価	第4四半期			評 価	年間	評 価
					2022年 9月期	2024年度 9月期			2025年度 9月期	2026年度 9月期	10月		11月	12月	1月		2月	3月	4月		5月	6月	7月			
廃棄物	排出ゴミ分別の徹底	一般廃棄物	<ul style="list-style-type: none"> カタログ、新聞紙等の廃棄物の分別を開始し、リサイクルに取り組む事で廃棄物を減少させる ペットボトルの分別を徹底する 	775Kg	目標維持 (775kg)	目標維持 (775kg)	目標維持 (775kg)	目標	194 kg	115%	○	194 kg	115%	○	194 kg	112%	○	194 kg	114%	○	776 L	○				
								実績	165 kg	エネキ管理表参照		165 kg	エネキ管理表参照		170 kg	エネキ管理表参照		167 kg	エネキ管理表参照				667 L	114%		
省資源	コピー用紙購入量の削減	コピー購入用紙 (パーセント紙)	<ul style="list-style-type: none"> 裏紙の再利用 電子承認システムの適用範囲拡大(各種申請、出張報告などの電子化) 	1291kg/年	目標維持 (1291kg)	目標維持 (1291kg)	目標維持 (1291kg)	目標	紙類の削減 323Kg 使用済み封筒 の再利用	○	紙類の削減 323Kg 使用済み封筒 の再利用	△	紙類の削減 323Kg 使用済み封筒 の再利用	○	紙類の削減 323Kg 使用済み封筒 の再利用	○	紙類の削減 323Kg 使用済み封筒 の再利用	○	紙類の削減 323Kg 使用済み封筒 の再利用	○	1292Kg	○				
								実績	200Kg		138%		400Kg		76%		300Kg		107%		300Kg		107%	1200Kg	107%	
省エネ	水使用量の削減	水使用量	<ul style="list-style-type: none"> トイレや給湯室に節水協力の張り紙を提示した。 トイレ擬似音の活用 	-	管理外の為 目標は設定せず。	管理外の為 目標は設定せず。	管理外の為 目標は設定せず。	目標	節水表示の徹底		節水表示の徹底		節水表示の徹底		節水表示の徹底		節水表示の徹底		節水表示の徹底							
								実績																		
省エネ	電気使用量の削減 二酸化炭素 排出量の削減	事務所電気の使用	<ul style="list-style-type: none"> 照明の一部で間引きを継続する。(窓際のダウンライトを間引き) 使用していないパソコン、ディスプレイ等の電源OFF励行 	36342kwh/年	目標維持 (36342kwh)	目標維持 (36342kwh)	目標維持 (36342kwh)	目標	9,086 kwh	110%	○	9,086 kwh	110%	○	9,086 kwh	107%	○	9,086 kwh	106%	○	36,344 kwh	○				
								実績	8,153 kwh	エネキ管理表参照		8,153 kwh	エネキ管理表参照		8,419 kwh	エネキ管理表参照		8,526 kwh	エネキ管理表参照		33,251 kwh		109%			
								ガス使用量の削減 二酸化炭素 排出量の削減	事務所冷暖房の使用	<ul style="list-style-type: none"> 冷暖房の適正温度厳守(冷房: 28℃、暖房: 22℃) 期間 冷房6月~9月 暖房12月~3月 使用していない部屋の冷暖房節約 	5753m³/年	目標維持 (5753m³)	目標維持 (5753m³)	目標維持 (5753m³)	目標	575 m³	85%	△	1,151 m³	124%	○	1,266 m³	138%	○	2,761 m³	115%
実績	661 m³	エネキ管理表参照	880 m³	エネキ管理表参照	790 m³	エネキ管理表参照	2,355 m³	エネキ管理表参照	4,686 m³	119%																
省エネ	輸送回数の減少および梱包用資材の削減	クレーム/不具合率の減少	<ul style="list-style-type: none"> クレーム台帳への記入、管理(クレーム台帳の電子化済み) 社用車の新型更新を行う 	6.31%	目標維持 (6.31%)	目標維持 (6.31%)	目標維持 (6.31%)	目標	6.31 %	116%	○	6.31 %	113%	○	6.31 %	120%	○	6.31 %	28%	×	6.31 %	△				
								実績	5.33 %			5.51 %			5.04 %			10.83 %			6.68 %		94%			
有益なテーマ	化学物質の管理	化審法および毒劇法対象物質の選別	社内システムにSDSを入力し、化審法および毒劇法の対象物質か否かを判定する。	なし	目標は設定せず、実績の管理を行う。			目標	実施		実施		実施		実施		実施									
教育	環境教育の充実	EMS関連教育 特定作業員への教育 手順書の説明 法規制の遵守	<ul style="list-style-type: none"> 自覚教育の実施 JIS-Q-9100の教育推進 	-	100%受講			目標																		
上期	環境経営最高責任者コメント欄							ガス使用量が増え、 まっていた。例年より暑い 日が続く、エアコンを付け ていたと思われる。無理な ない程度で温度設定を実施 したい。		コピー用紙について目標が 達成できなかった。インボ イス制度も始まり、もう少し 紙の削減が出来るように 進めたい。		全項目目標をクリア出来、 よい四半期だった。これか ら暑い時期を迎えるが、熱 中症には気を付けつつ、エ コ活動をを気に掛けていき たい。		クレームの不具合率が大き く増加してしまっている。 クレームの発生原因を調査 し、今後クレームを減らし ていくことを考えて行く必 要がある。		コピー用紙の購入量と電気 使用量は削減傾向が続いて いる。ガスに関しては四半 期毎の目標設定の変更が あってもよいと思われる。 クレーム関係については更 なる削減を進めていき たい。		照査：環境管理責任者								
	年度	環境経営最高責任者コメント欄							輸送回数を除くいずれの目標も達成できた。クレーム/不具合率をより低減し、省エネ目標全体の達成を目指す。		照査：環境管理責任者		照査：環境管理責任者		照査：環境管理責任者		照査：環境管理責任者		照査：環境管理責任者							

2024年9月期 環境目標及び環境活動実施計画書

χ：目標の達成度
 ○：100% ≤ χ
 △：70% ≤ χ < 100%
 ×：χ < 70%

[様式-4]

項目	環境目的 (環境方針)	課題 (何を)	具体的方法 (どのように)	2022年9月の平均を基準(BM)とした達成基準(どこまで)				目標 実績	日 程 (いつまでに)																		
				基準(BM)	目 標				目的	第1四半期			評 価	第2四半期			評 価	第3四半期			評 価	第4四半期			評 価	年間	評 価
					2022年度 9月期	2024年度 9月期	2025年度 9月期			2026年度 9月期	10月	11月		12月	1月	2月		3月	4月	5月		6月	7月	8月			
廃棄物	排出ゴミ分別の徹底	一般廃棄物	・カタログ、新聞紙等の廃棄物の分別を開始し、リサイクルに取り組む事で廃棄物を減少させる	901kg/年	目標維持 (901Kg)	目標維持 (901Kg)	目標維持 (901Kg)	目標	225 Kg	98%	△	225 Kg	93%	△	225 Kg	95%	△	225 Kg	93%	△	900 L						
								実績	230 Kg	エネキ管理表参照	241 Kg	エネキ管理表参照	236 Kg	エネキ管理表参照	241 Kg	エネキ管理表参照	948 L	95%									
省資源	コピー用紙購入量の削減	コピー購入用紙 (バージン紙)	・裏紙の再利用 ・電子承認システムの適用範囲拡大(各種申請、出張報告などの電子化) ・プロジェクト使用やWeb会議の更なる活用によりペーパーレス化を全社推進	520kg/年	目標維持 (520Kg)	目標維持 (520Kg)	目標維持 (520Kg)	目標	紙類の削減 130Kg 使用済み封筒の再利用	△	紙類の削減 130Kg 使用済み封筒の再利用	△	紙類の削減 130Kg 使用済み封筒の再利用	○	紙類の削減 130Kg 使用済み封筒の再利用	×	520Kg										
								実績	141Kg 92%	131Kg 100%	120Kg 108%	171Kg 69%	562Kg	92%													
省エネ	水使用量の削減	水使用量	・トイレや給湯室に節水協力の張り紙を提示 ・トイレ擬音の活用	-	管理外の為目標は設定せず。	管理外の為目標は設定せず。	管理外の為目標は設定せず。	目標	節水表示の徹底		節水表示の徹底		節水表示の徹底		節水表示の徹底												
								実績																			
省エネ	電気使用量の削減 二酸化炭素 排出量の削減	事務所電気の使用	・コストだけではなくエコにつながる機器の導入 ・空調の適温化(冷房28度程度、暖房22度程度) ・社用車の代替	51207kwh/年	目標維持 (51207Kwh)	目標維持 (51207Kwh)	目標維持 (51207Kwh)	目標	12,802 kwh	99%	△	10,241 kwh	83%	△	12,802 kwh	96%	△	15,362 kwh	91%	△	51,207 kwh						
								実績	12,941 kwh	エネキ管理表参照	12,007 kwh	エネキ管理表参照	13,355 kwh	エネキ管理表参照	16,804 kwh	エネキ管理表参照	55,107 kwh	92%									
省エネ	輸送回数の減少および梱包用資材の削減	クレーム/不具合率の減少	・クレーム台帳への記入、管理(クレーム台帳の電子化済み)	3.22%	目標維持 (3.22%)	目標維持 (3.22%)	目標維持 (3.22%)	目標	3.22 %	131%	○	3.22 %	132%	○	3.22 %	148%	○	3.22 %	150%	○	3.22 %						
								実績	2.22 %	2.19 %	1.69 %	1.60 %	1.93 %	140%													
有益なテーマ	化学物質の管理	化審法および毒劇法対象物質の選別	社内システムにSDSを入力し、化審法および毒劇法の対象物質か否かを判定する。	なし	目標は設定せず、実績の管理を行う。	目標は設定せず、実績の管理を行う。	目標は設定せず、実績の管理を行う。	目標	実施		実施		実施		実施												
教育	環境教育の充実	EMS関連教育 特定作業員への教育 手順書の説明 法規制の遵守	・自覚教育の実施 ・JIS-Q-9100の教育推進	-	100%受講	100%受講	100%受講	目標																			
上期	環境経営最高責任者コメント欄							取引先への提出を紙で求められている書類があり、取引量によってコピー用紙の購入量が増減する要素がある。また、電気使用量が増加傾向にあるため原因を解析し、目標達成に向けた取り組みを実施する。	〈コメント〉 コピー用紙の削減活動は継続しているが、取引先への使用は変わらないため注文量は平行となっている。社内利用は引き続き裏紙利用を意識する。			〈コメント〉 目標達成には至らなかったが、コピー用紙、電気ともに数値は改善している。第3四半期は少しでも目標に近づけるようにしたい。			〈コメント〉 電気使用量の項目以外数値が改善している。継続したい。			〈コメント〉 コピー用紙の使用量が大幅に増加した。決算期や突発的な案件もあるため使用量が多くなったとみられる。			〈コメント〉 取引先と紙でのやり取り、猛暑の1年となったため電気代や紙使用量は中々減らすことが困難であった。各自が数値の達成率をより意識して頂き、最低限来期は今期数値を上回らないよう努めたい。						
	年度	環境経営最高責任者コメント欄							コピー用紙購入量はA4サイズ用紙は前年比で削減できたがA3サイズが増加した影響で全体の購入量が増加したことから、印刷サイズの縮小や両面印刷の	照査： 環境管理責任者			照査： 環境管理責任者			照査： 環境管理責任者			照査： 環境管理責任者								

2025年9月期 環境目標及び環境活動実施計画書

χ : 目標の達成度
 ○: $100\% \leq \chi$
 △: $70\% \leq \chi < 100\%$
 ×: $\chi < 70\%$

[様式-4]

項目	環境目的 (環境方針)	課題 (何を)	具体的方法 (どのように)	2022年度実績を 基準(BM)とした達成基準(どこまで)				目標 /実績	日 程 (いつまでに)																	
				基準(BM) 2022年度実績	目 標		目 的		第1四半期			評 価	第2四半期			評 価	第3四半期			評 価	第4四半期			年 間	評 価	
					2024年度9月期	2025年度9月期			2026年度9月期	10月	11月		12月	1月	2月		3月	4月	5月		6月	7月	8月			9月
廃棄物	排出ゴミ分別の徹底	一般廃棄物	・排出ごみの分別を徹底する。 ・鞆を活用してレジ袋を削減。	23845L	目標維持 (23845 L)	目標維持 (23845 L)	目標維持 (23845 L)	目標	6,498 L			評 価	5,782 L			評 価	5,782 L			評 価	5,782 L			年間	23,845 L	評 価
								実績	L	エネルギー 管理表 参照	L		エネルギー 管理表 参照	L	エネルギー 管理表 参照		L	エネルギー 管理表 参照	L		エネルギー 管理表 参照					
省資源	コピー用紙購入量の削減	コピー購入用紙 (パーズン紙)	・両面コピー・縮小コピー使用の徹底 ・Web会議、プロジェクター利用の促進 ・電子承認システムの適用範囲拡大(各種申請、出張報告などの電子化)	800kg/年	目標維持 (800kg)	目標維持 (800kg)	目標維持 (800kg)	目標	紙類の削減 200Kg 使用済み封筒の 再利用			評 価	紙類の削減 200Kg 使用済み封筒の 再利用			評 価	紙類の削減 200Kg 使用済み封筒の 再利用			評 価	紙類の削減 200Kg 使用済み封筒の 再利用			年間	800Kg	評 価
								実績																		
省エネ	水使用量の削減	水使用量	・トイレや給湯室に節水協力の張り紙を提示した。 ・トイレ擬似音の活用	-	管理外の為目標は 設定せず。	管理外の為目標は 設定せず。	管理外の為目標は 設定せず。	目標	節水表示の徹底			評 価	節水表示の徹底			評 価	節水表示の徹底			評 価	節水表示の徹底			年間		評 価
								実績																		
省エネ	電気使用量の削減 CO ₂ 排出量の削減	事務所電気の使用	1) 室内不在時、昼休み時の消灯励行 2) 使用しないパソコン等の電源OFF徹底 3) 省エネパソコンへの代替を引続き進める。 4) 照明の一部で間引きを継続する。	68815kwh/年	目標維持 (68815kg)	目標維持 (68815kg)	目標維持 (68815kg)	目標	17,204 kwh			評 価	17,204 kwh			評 価	17,204 kwh			評 価	17,204 kwh			年間	68,815 kwh	評 価
								実績		エネルギー 管理表 参照	kwh		エネルギー 管理表 参照	kwh	エネルギー 管理表 参照		kwh	エネルギー 管理表 参照								
								目標	1,840 m ³			評 価	2,759 m ³			評 価	1,380 m ³			評 価	3,219 m ³			評 価	9,198 m ³	
実績	m ³	エネルギー 管理表 参照	m ³	エネルギー 管理表 参照	m ³	エネルギー 管理表 参照	m ³	エネルギー 管理表 参照																		
省エネ	輸送回数の減少および梱包用資材の削減	クレーム/不具合率の減少	1) クレーム台帳への記入、管理(クレーム台帳の電子化済み)	3.20%	目標維持 (3.20%)	目標維持 (3.20%)	目標維持 (3.20%)	目標	3.20 %	153%	評 価	3.20 %	142%	評 価	3.20 %	104%	評 価	3.20 %	-6%	評 価	3.20 %	年間	3.20 %	評 価		
								実績	%			%			%			%								
有益なテーマ	化学物質の管理	化審法および毒劇法対象物質の選別	社内システムにSDSを入力し、化審法および毒劇法の対象物質か否かを判定する。	なし	目標は設定せず、 実績の管理を行う。	目標は設定せず、 実績の管理を行う。	目標は設定せず、 実績の管理を行う。	目標	実施			評 価	実施			評 価	実施			評 価	実施			年間		評 価
								実績																		
教育	環境教育の充実	EMS関連教育 特定作業員への教育 手順書の説明 法規制の遵守	・自覚教育の実施 ・EMS関連教育の実施 ・緊急事態対応訓練・教育 ・JIS-Q-9100の教育推進	-	100%受講	100%受講	100%受講	目標				評 価				評 価				評 価				年間		評 価
								実績																		
上期	環境経営最高責任者コメント欄							(コメント)			(コメント)			(コメント)			(コメント)			(コメント)						
	環境経営最高責任者コメント欄							照査：環境管理責任者			照査：環境管理責任者			照査：環境管理責任者			照査：環境管理責任者			照査：環境管理責任者						
年度	環境経営最高責任者コメント欄							照査：環境管理責任者			照査：環境管理責任者			照査：環境管理責任者			照査：環境管理責任者			照査：環境管理責任者						

2025年9月期 環境目標及び環境活動実施計画書

χ：目標の達成度
 ○：100% ≤ χ
 △：70% ≤ χ < 100%
 ×：χ < 70%

[様式-4]

項目	環境目的 (環境方針)	課題 (何を)	具体的方法 (どのように)	2022年9月を基準(BM)とした達成基準(どこまで)				目標 実績	日 程 (いつまでに)																		
				基準(BM)	目 標		目 的		第1四半期			評 価	第2四半期			評 価	第3四半期			評 価	第4四半期			評 価	年間	評価	
					2022年 9月期	2024年度 9月期			2025年度 9月期	2026年度 9月期	10月		11月	12月	1月		2月	3月	4月		5月	6月	7月				8月
廃棄物	排出ゴミ分別の徹底	一般廃棄物	・カタログ、新聞紙等の廃棄物の分別を開始し、リサイクルに取り組む事で廃棄物を減少させる ・ペットボトルの分別を徹底する	775Kg	目標維持 (775kg)	目標維持 (775kg)	目標維持 (775kg)	目標	194 kg				194 kg				194 kg				194 kg				776 kg		
								実績	kg <small>エネルギー管理表参照</small>				kg <small>エネルギー管理表参照</small>				kg <small>エネルギー管理表参照</small>				kg <small>エネルギー管理表参照</small>				kg		
省資源	コピー用紙購入量の削減	コピー購入用紙 (バージン紙)	・裏紙の再利用 ・電子承認システムの適用範囲拡大(各種申請、出張報告などの電子化)	1291kg/年	目標維持 (1291kg)	目標維持 (1291kg)	目標維持 (1291kg)	目標	323Kg 紙類の削減 使用済み封筒の再利用				323Kg 紙類の削減 使用済み封筒の再利用				323Kg 紙類の削減 使用済み封筒の再利用				323Kg 紙類の削減 使用済み封筒の再利用				1292Kg		
								実績																			
省資源	水使用量の削減	水使用量	・トイレや給湯室に節水協力の張り紙を提示した。 ・トイレ擬似音の活用	-	管理外の為目標は設定せず。	管理外の為目標は設定せず。	管理外の為目標は設定せず。	目標	節水表示の徹底				節水表示の徹底				節水表示の徹底				節水表示の徹底						
								実績																			
省エネ	電気使用量の削減 二酸化炭素 排出量の削減	事務所電気の使用	・照明の一部で間引きを継続する。(窓際のダウンライトを間引き) ・使用していないパソコン、ディスプレイ等の電源OFF励行	36342kwh/年	目標維持 (36342kwh)	目標維持 (36342kwh)	目標維持 (36342kwh)	目標	9,086 kwh				9,086 kwh				9,086 kwh				9,086 kwh				36,344 kwh		
								実績	kwh <small>エネルギー管理表参照</small>				kwh <small>エネルギー管理表参照</small>				kwh <small>エネルギー管理表参照</small>				kwh <small>エネルギー管理表参照</small>				kwh		
	ガス使用量の削減 二酸化炭素 排出量の削減	事務所冷暖房の使用	・冷暖房の適正温度厳守(冷房：28℃、暖房：22℃) 期間 冷房6月～9月 暖房12月～3月 ・使用していない部屋の冷暖房節約	5753m ³ /年	目標維持 (5753m ³)	目標維持 (5753m ³)	目標維持 (5753m ³)	目標	575 m ³				1,151 m ³				1,266 m ³				2,761 m ³				5,753 m ³		
実績								m ³ <small>エネルギー管理表参照</small>			m ³ <small>エネルギー管理表参照</small>			m ³ <small>エネルギー管理表参照</small>			m ³ <small>エネルギー管理表参照</small>				m ³						
輸送回数の減少および梱包用資材の削減	クレーム/不具合率の減少	・クレーム台帳への記入、管理(クレーム台帳の電子化済み) ・社用車の新型更新を行う	6.31%	目標維持 (6.31%)	目標維持 (6.31%)	目標維持 (6.31%)	目標	6.31 %				6.31 %				6.31 %				6.31 %				6.31 %			
							実績	%				%				%				%				%			
有益なテーマ	化学物質の管理	化審法および毒劇法対象物質の選別	社内システムにSDSを入力し、化審法および毒劇法の対象物質か否かを判定する。	なし	目標は設定せず、実績の管理を行う。			目標	実施				実施				実施				実施						
								実績																			
教育	環境教育の充実	EMS関連教育 特定作業員への教育 手順書の説明 法規制の遵守	・自覚教育の実施 ・JIS-Q-9100の教育推進	-	100%受講			目標																			
								実績																			
上期	環境経営最高責任者コメント欄							〈コメント〉			〈コメント〉			〈コメント〉			〈コメント〉			〈コメント〉							
	環境経営最高責任者コメント欄							照査：環境管理責任者			照査：環境管理責任者			照査：環境管理責任者			照査：環境管理責任者			照査：環境管理責任者							
年度	環境経営最高責任者コメント欄							照査：環境管理責任者			照査：環境管理責任者			照査：環境管理責任者			照査：環境管理責任者			照査：環境管理責任者							

2025年9月期 環境目標及び環境活動実施計画書

χ：目標の達成度
 ○：100% ≤ χ
 △：70% ≤ χ < 100%
 ×：χ < 70%

[様式-4]

項目	環境目的 (環境方針)	課題 (何を)	具体的方法 (どのように)	2022年9月の平均を基準(BM)とした達成基準(どこまで)				目標 実績	日 程 (いつまでに)																	
				基準(BM)	目 標		目的		第1 四半期			評 価	第2 四半期			評 価	第3 四半期			評 価	第4 四半期			評 価	年間	評価
					2022年度 9月期	2024年度 9月期			2025年度 9月期	2026年度 9月期	10月		11月	12月	1月		2月	3月	4月		5月	6月	7月			
廃棄物	排出ゴミ分別の徹底	一般廃棄物	・カタログ、新聞紙等の廃棄物の分別を開始し、リサイクルに取り組む事で廃棄物を減少させる	901kg/年	目標維持 (901Kg)	目標維持 (901Kg)	目標維持 (901Kg)	目標	225 Kg				225 Kg				225 Kg				225 Kg				900 kg	
								実績	Kg <small>エネキ管理表参照</small>				Kg <small>エネキ管理表参照</small>				Kg <small>エネキ管理表参照</small>				Kg <small>エネキ管理表参照</small>				kg	
省資源	コピー用紙購入量の削減	コピー購入用紙 (バージン紙)	・裏紙の再利用 ・電子承認システムの適用範囲拡大(各種申請、出張報告などの電子化) ・プロジェクト使用やWeb会議の更なる活用によりペーパーレス化を全社推進	520kg/年	目標維持 (520Kg)	目標維持 (520Kg)	目標維持 (520Kg)	目標	紙類の削減 130Kg 使用済み封筒の再利用				紙類の削減 130Kg 使用済み封筒の再利用				紙類の削減 130Kg 使用済み封筒の再利用				紙類の削減 130Kg 使用済み封筒の再利用				520Kg	
								実績	92%				100%				108%				69%					
省エネ	水使用量の削減	水使用量	・トイレや給湯室に節水協力の張り紙を提示 ・トイレ擬似音の活用	-	管理外の為目標は設定せず。	管理外の為目標は設定せず。	管理外の為目標は設定せず。	目標	節水表示の徹底				節水表示の徹底				節水表示の徹底				節水表示の徹底					
								実績																		
省エネ	電気使用量の削減 二酸化炭素 排出量の削減	事務所電気の使用	・コストだけではなくエコにつながる機器の導入 ・空調の適温化(冷房28度程度、暖房22度程度) ・社用車の代替	51207kwh/年	目標維持 (51207Kwh)	目標維持 (51207Kwh)	目標維持 (51207Kwh)	目標	12,802 kwh				10,241 kwh				12,802 kwh				15,362 kwh				51,207 kwh	
								実績	kwh <small>エネキ管理表参照</small>				kwh <small>エネキ管理表参照</small>				kwh <small>エネキ管理表参照</small>				kwh <small>エネキ管理表参照</small>				kwh	
省エネ	輸送回数の減少および梱包用資材の削減	クレーム/不具合率の減少	・クレーム台帳への記入、管理(クレーム台帳の電子化済み)	3.22%	目標維持 (3.22%)	目標維持 (3.22%)	目標維持 (3.22%)	目標	3.22 %				3.22 %				3.22 %				3.22 %				3.22 %	
								実績	%				%				%				%				%	
有益なテーマ	化学物質の管理	化審法および毒劇法対象物質の選別	社内システムにSDSを入力し、化審法および毒劇法の対象物質か否かを判定する。	なし	目標は設定せず、実績の管理を行う。	目標は設定せず、実績の管理を行う。	目標は設定せず、実績の管理を行う。	目標	実施				実施				実施				実施					
								実績																		
教育	環境教育の充実	EMS関連教育 特定作業員への教育 手順書の説明 法規制の遵守	・自覚教育の実施 ・JIS-Q-9100の教育推進	-	100%受講	100%受講	100%受講	目標																		
								実績																		
上期	環境経営最高責任者コメント欄							〈コメント〉			〈コメント〉			〈コメント〉			〈コメント〉			〈コメント〉						
	環境経営最高責任者コメント欄							照査：環境管理責任者			照査：環境管理責任者			照査：環境管理責任者			照査：環境管理責任者			照査：環境管理責任者						

【6】環境関連法規の一覧

No.	法令等	条 項 (内容及 び基準)	適用される施設・物質等と該当する環境影響内容 (適用施設・業務内容等)	当該要求事項 (規制事項)	遵守状況	評価 結果	確認時期
	法条例の名称						
1	廃棄物処理及び清掃に関する法律	第14条 (産業廃棄物処理業)	◇許可を受けた廃棄物処理業者との契約をすること。 ◇産業廃棄物の処理にあたっては、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき、収集運搬業者及び処分業者それぞれと委託契約を締結している。	ビル管理会社及び同委託業者との契約書・業者の許可証の確認	契約書・許可書の確認	○	2024年6月28日
2	消防法 東京都震災対策条例 火災防止条例	第五十条の三	新橋2丁目5-5 新橋2丁目MTビル	火災訓練参加 防火管理者の 選定	火災訓練実施記録 防火管理者 (伊藤支店長) 選定、 確認	○	2024年5月31日
3	消防法 神戸市火災予防条例	第8条1項 神戸市火災予防条例 第50条の6	明石町32番地 明海ビル	火災訓練 防火管理者の 選定	火災訓練実施記録 防火管理者 (添田取締役)の選定	○	2024年5月31日
4	名古屋市火災予防条例	火災予防条例第4章	栄1-2-7 名古屋東宝ビル	第4章避難及び 防火の管理等	火災訓練実施記録 防火管理者 (木村理事 支店長) 選定、 確認	○	2024年5月31日
5	毒物及び劇物取締法(毒劇法) 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法)	第6条(登録事項)	毒物劇物の輸入や販売には免許(登録)が必要 新規化学物質の事前審査、化学物質の性状等に応じた規制及び措置(事前届出)、上市後の化学物質の継続的な管理措置(事後届出)	毒物劇物輸入 業品目の登録 新規化学物質 なら事前審査 が、新規でなければ 事前または 事後の届出 が必要	毒物劇物輸入 業品目登録 済証	○	2024年5月31日

【7】環境関連法規への違反、訴訟等の有無

2023年9月30日 環境関連法規制の遵守評価をした結果

違反はありません。また、関係当局からの指摘についても過去3年間ありません。
同様に訴訟についても過去3年間ありません。

【8】環境経営責任者による全体評価と見直し

リモート会議を活用する機会が増え、電子帳簿保存法への対応による更なるペーパーレス化に期待できる。
取引先からのCSR調査が増え、環境への取り組み状況についての問い合わせが増えた。
環境活動実施計画書に記載されている具体的方法の実行取り組みを進める。
事業の拡大により増員が見込まれており、環境教育や業務効率化の推進を引き続き徹底する。

項 目	変更の要否	システムの変更に関する 決定・処置 (改善の機会含む)
環境方針	要・否	環境方針を継続する。
環境目的・目標	要・否	次回の3か年計画で目標値を見直し予定。
環境マネジメントシステムの その他の要素	要・否	JIS Q 9100 (ISO 9001) を 引続き認証継続している。

環境への負荷の状況（取りまとめ表）

2025/1/31

	単位	2015年 9月期	2016年 9月期	2017年 9月期	2018年 9月期	2019年 9月期	2020年 9月期	2021年 9月期	2022年 9月期	2023年 9月期	2024年 9月期	
① 総エネルギー投入量	購入電力（東京支店・宇都宮営業所）	MJ	765,452	712,282	710,581	690,813	623,723	635,193	592,093	696,616	673,070	692,068
	購入電力（中部・三柿野営業所）	MJ	308,367	321,677	335,075	330,042	325,039	330,268	363,867	357,242	330,475	326,857
	購入電力（神戸・大阪営業所）	MJ	472,754	438,074	465,903	455,925	464,448	460,319	475,192	552,859	524,231	541,702
	化石燃料（東京支店・宇都宮営業所）	MJ	702,338	648,975	624,266	706,188	616,302	583,284	341,026	459,191	351,480	360,056
	化石燃料（中部・三柿野営業所）	MJ	511,255	463,256	417,986	501,888	534,877	698,105	753,537	445,203	380,974	425,182
	化石燃料（神戸・大阪営業所）	MJ	117,762	114,040	91,754	73,864	72,215	60,049	62,228	73,900	71,334	62,552
	新エネルギー	MJ										
	その他	MJ										
② 総物質投入量	資源投入量	t										
	循環資源投入量	t										
③ 水資源投入量	上水	m ³										
	工業用水	m ³										
	地下水	m ³										
【④ 温室効果ガス排出量】	二酸化炭素（東京支店・宇都宮営業所）	Kg-CO ₂	66,566	61,818	60,529	63,639	56,233	54,910	40,544	50,137	49,157	48,924
	二酸化炭素（中部・三柿野営業所）	Kg-CO ₂	42,200	39,747	38,425	20,916	43,906	51,565	66,431	43,489	36,416	21,530
	二酸化炭素（神戸・大阪営業所）	kg-CO ₂	26,081	24,498	24,072	22,488	25,505	21,730	22,448	29,420	23,449	23,482
⑤ 化学物質排出量・移動量	大気への排出量	t										
	公共用水域への排出	t										
	土壌への排出	t										
⑥ 総製品生産量又は 総製品販売量	製品生産量	t										
	環境負荷低減に資する製品	t										
	容器包装使用量	t										
【⑦ 廃棄物等総排出量】	再使用	KG										
	再生利用	KG										
	熱回収	KG										
	単純焼却	KG										
	その他	KG										
⑧ 廃棄物最終処分量	最終処分量（東京支店・宇都宮営業所）	kg				800.00						
	二酸化炭素（中部・三柿野営業所）	kg				803.00						
	最終処分量（神戸・大阪営業所）	kg				906.44						
⑧ 産業廃棄物	最終処分量（東京支店・宇都宮営業所）	kg				12.6						
	二酸化炭素（中部・三柿野営業所）	kg				12,183.0						
	最終処分量（神戸・大阪営業所）	kg				178.5						
【⑨ 総排水量】	公共用水域	m ³										
	下水道	m ³										
	BOD	g										

※温室効果ガス排出量の算定に使用した各電気事業者の排出係数（2022年7月14日公表）： 東京電力 0.441 Kg-CO₂/kWh / 中部電力 0.377 Kg-CO₂/kWh / 関西電力 0.350 Kg-CO₂/kWh